

令和3年度学校自己評価システムシート (県立川越西高等学校)

目指す学校像	学力の向上、豊かな人間性の育成、健康の増進・体力の向上による高い自己形成を目指すとともに、地域との連携により信頼を確保する。
--------	--

重点目標	1 学力向上を目指した学びの定着 2 豊かな人間性を育む生徒指導・人権教育の推進 3 一人一人の進路実現を目ざした進路指導の実現 4 信頼される学校を目ざした地域・保護者との連携
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標				年度評価(月日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 スタディサプリの利用を中心に徐々に家庭学習時間が増加している。 【課題】 家庭学習を積極的に行っている生徒が2割程度にとどまっており、自主的に学習する姿勢の育成が課題である。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの充実による、学習意欲の向上。 	①スタディサプリアを効率的に活用し、授業の学習を補充する。 ②公開授業週間に教員相互の授業見学を行い、授業力を向上する。 ③英検、漢検、数検の受検者数を増加させ、資格取得を学習意欲の向上につなげる。	①スタディサプリアの活用率を上げる。 ②教職員の授業評価と生徒アンケートの授業評価(11月)を実施する。 ③授業以外の学習時間と各種検定の受検者数及び合格者数を向上させる。			
2	【現状】 一部の生徒に校則にそぐわない、身だしなみが見られる。校外でのマナーに対する指摘が皆無にならない。 【課題】 規範意識の向上と共に、整容指導に対する意識啓発が課題である。また、交通マナーについても指導の充実が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立及び規範意識・防犯意識・交通安全意識の向上。 	①職員が協調して指導を実施し、基本的な生活習慣・規範意識を定着させる。 ②校門立哨指導の継続と、定期的な整容指導を実施する。 ③集会、DVD上映等を活用し、交通安全・マナー指導を徹底する。	①HR(毎日)・学年集会(学期2回)を実施し、継続的に指導する。 ②輪番による校内立哨指導(毎日)、全体指導(学期1回)を実施し、整容・遅刻者指導をする。 ③登下校時のマナーに関する苦情件数と交通事故件数を1桁にする。			
3	【現状】 進路意識の高揚を目指す取組により、昨年度は1月末時点で95%の進路決定率であった。 【課題】 生徒の意識は高まりつつある。進路に向けた早い段階からの計画的・継続的な指導が課題である。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の進路希望の実現に向けた指導の充実。 	①進学補習・模擬試験・各種検定の積極的な参加を指導する。 ②生徒に対し、入試情報及び、就職についての迅速かつ丁寧な情報提供を行う。 ③進路だよりの発行などによる、進路意識の啓発及び情報の提供を行う。	①進学補習・模擬試験・各種検定の参加・受験者数を増やす。 ②生徒の進路決定率とともに、生徒が希望した進路実現がはかれたか。 ③進路だよりの発行回数。			
4	【現状】 これまで地域住民・小中学校との交流やボランティア活動が活発に行われている。 【課題】 HP等、広報活動の更なる充実を図り、入学志願者数の増加につなげることが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と家庭・地域との連携強化。 	①公民館等が主催するボランティア活動等への参加を促す。 ②3W事業への積極的な参加。 ③HPの活用など、効果的な情報発信の研究を行う。 ④保護者対象の進路説明会において、最新の情報を提供する。	①公民館事業への参加生徒数やその他ボランティアの参加数。 ②小中学校との連携回数。 ③HP更新・閲覧者数と入学志願者数の増加。 ④保護者対象進路説明会への参加者数。			

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	